

か ど い し

お さ あ き

門石長秋

(1877~1926) 歯科医師

明治10年 宇田枝村(清川町)生まれ

上京して歯科医学院卒業後、歯科医術開業試験に合格。長野県上田市で開業。明治41年に再び上京し、神田で開業、歯科医師会の要職に就く。大正初期に私財を投じて東京歯科医学講習所を開設。郷土出身の受講者も多く面倒をよく見、歯科医師の養成に尽力した。大正15年に病に侵され、49歳の若さで亡くなった。

参考:『大分県歴史人物事典』『清川村誌』